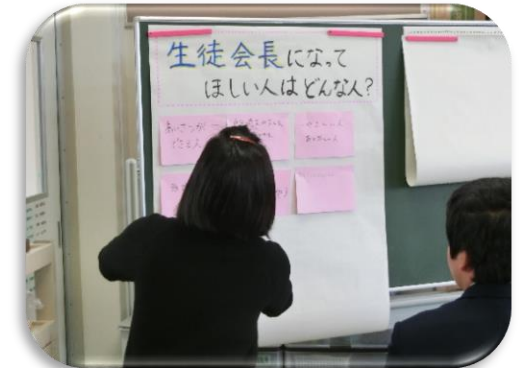


主権者教育『選挙にむけての学習』

12月8日（金）に、1・2・3年生の計22名を対象に、2月の生徒会役員選挙にむけて、投票する人を選ぶ学習を行いました。

「生徒会長にふさわしい人はどんな人?」「くぼた校をどんな学校にしたいか」などをグループごとに話し合い、その後生徒会長（今回は架空の人です）になってほしい人を選びました。「なんとなく選んだ」「友達だから選んだ」などではなく、「ボランティアをがんばりたいというところが、ぼくと同じ気持ちだから」「楽しい学校にしたいという気持ちがいいと思った」など、しっかりと理由を考えながら選ぶことができました。さらには、学校のために自分ができることを考えたり、もっとよい学校にしたいという気持ちが見られたりするなど、くぼた校の一員としての意識を高めることにもつながりました。



平成28年6月から、選挙権が18歳以上になり、くぼた校でも3学年の生徒の中には、先日のいわき市長選挙で投票を経験した生徒もいます。今後も生徒達の主権者（選挙）への意識をより高められるよう、実践していきたいと思います。